

【活動の主題】 音楽が地域との懸け橋に 吹奏楽部の活動の充実

【学校名】

米原市立

柏原中学校

1 本校の概要

本校は岐阜県との県境に位置する、滋賀県最東端の中学校です。全校生徒 30 人あまりという極めて小規模の学校ですが、その分地域に開かれた学校として、学校開放日を設けたり、地域を巻きこんでの防災訓練を実施したりと、コミュニティ・スクールとして地域に根付いた教育活動を推進しています。「自立と貢献」を学校教育目標に掲げ、全校一丸となって自由進度学習に取り組み、自ら考え、判断し行動できる生徒の育成を目指しています。

2 取り組んだ内容

(1) 地域行事・イベントへの参加

柏原区では毎夏、特産の伊吹もぐさにまつわる「やいと祭り」が開かれています。地域の方々の力を結集してつくられる祭りで、今年は開催 30 回の記念の年でした。吹奏楽部は例年、やいと祭りのミニステージに出演させていただいていますが、今年は記念開催ということで、既に卒業した元部員も交えて演奏しました。吹奏楽を続けている高校生や、吹奏楽はやめてしまったけれど久しぶりに楽器を吹きたいという OG など、計 4 人が参加してくれました。残念ながら参加はかなわなかった OB・OG も当日は観客として見に来てくれ、同窓生としてのつながりを強く感じる機会となりました。

秋には、市の社会福祉協議会が主催する「地域共生社会フェスタ」のステージで演奏しました。市内吹奏楽部合同で演奏を、とのお話をいただき、米原中学校と合同バンドを組んで出演しました。米原市内 6 中学校のうち、吹奏楽部があるのは 4 校のみとなっています。コンクールで競い合うライバル同士ではありますが、横のつながりも大切に、切磋琢磨しながら活動しています。例年は楽器別講習会やホール練習を合同で行っていましたが、今年はついに合同演奏を披露する



ことができ、大変貴重な機会になったと感じています。

(2) こども園・小学校への訪問演奏

5 月は「柏原こども園」に、10 月は「柏原小学校」に、それぞれ訪問演奏に伺いました。どちらも、生徒たちにとっては、自分たちが育った、よく知った場所であり、生徒たちの幼少期を知る先生方にも、温かく迎えていただきました。演奏を聴いてもらったり、吹奏楽にまつわるクイズをしたり、吹奏楽の楽器を体験してもらったりして、吹奏楽部の活動をいろいろとってもらいました。

園児や児童にとっても、卒業した先輩たちの姿を見てもらう、よい時間となりました。



3 活動の成果

吹奏楽部は主にコンクールでの入賞を目指して活動しています。その一方で、学校や地域で演奏を披露し、観客の皆さんに楽しく聴いていただくことにも、大きな喜びを感じます。2025 年度は特に地域での演奏機会を増やし、地域住民の皆様に見守っていただいたり、地域の後輩たちの身近なロールモデルになったりと、精力的に活動してきました。

楽器を練習し、音楽演奏を経験することは、中学校部活動のみならず、その人の人生そのものを豊かにすることもあるでしょう。生徒たちにそのような貴重な経験をさせてやることも、きちんと整備された楽器が揃っていてこそです。校舎移転から 43 年が経過し、昭和時代に購入した楽器をなんとか今も使用している本校です。本事業での助成を受け購入した楽器のおかげで、生徒たちもより生き生きと活動することができました。新しい楽器を手にしたときの生徒たちの目の輝き。レトロな楽器と新しい楽器との音の違い。ぜひ多くの方に目の当たりにしてもらいたいものです。

今回購入した楽器を、これからも大切に活用し、今後も学校や地域で愛されるスクールバンドを目指していきます。